

納得する説明を

8月5日、平成26年第2回臨時会が開かれ、村より提出された一般会計補正予算と工事請負契約の2件を審議しました。一般会計補正予算は、全員反対で否決、南部コミュニケーションター改修工事の工事請負契約は全員賛成で可決となりました。

急な村有地借地料の減額に異議

裏付けをとっての村有地借地料500万円の減額が

補正の内容は、土地建物貸付収入として霞山カントリー倶楽部の村有地賃借地料を500万円減額し、その不足分を財政調整基金の取り崩しにより繰り入れること、その他に消防団の県大会出場に伴う出場手当等でした。

問

霞山カントリーの借地料減額の陳情は以前から出ており、今年3月に総務産業建設常任委員会での調査会社に依頼し、経営状況を知るのも大事なことだと思いますが、このようなことは行いましたか。

答

霞山カントリーに資料の提出を要請し、説明を受けました。平成25年3月8日に嘆願で、借地料を2000万円減額してくれないかと申し入れがありました。その後1000万円までくださいときたわけです。そして議会を開くことなしに、前の正副議長に話し、500万円の減額で妥協しようと話を進めました。

問

もう少し慎重に取り扱うべきだったのではないですか。

答

非常に経営が悪く、村の賃貸借を解除されては困り、一歩下がって再起を促し、経営的な努力を促す中で決断をしました。

問

不採択となっても正副議長と話せば何でも全部決めてよいのですか。

答

私の裁量ということですが、3月の定例会で今年の予算と陳情の不採択が議決されたことが借契約書を締結しました。

問

平成25年度は黒字だったことについてはどのように考えていますか。

答

単年度では黒字でしたが、トータルで赤字だと話がありました。

問

提出された書面の裏付けは取ったのですか。

答

裏付けは取っていません。

問

交渉が成立したのと説明がありましたが、交渉でよろしいのですか。

答

6月24日に副支配人が来庁し、減額を受ける回答書が提出され、7月1日に土地賃借契約書を締結しました。

問

3月17日、村有林借地料減額に関する嘆願書は「ゴルフ場の価格競争により経営の厳しさは理解できるが、借地料減額は、個人地主にも多大な影響を及ぼす。地主代表と協議した経緯や本村の歳入を考えると、重要な財源である。ゴルフ場のさらなる経費節減などの経営努力を行っていただきたい。」と不採択となりました。一度減額を認めるとそれが継続され、大きな金額になります。村も問題が山積みしており、少ないお金を有効に活用していかねばならないと非常に心配しています。以上の観点から反対します。

答

6月24日に副支配人が来庁し、減額を受ける回答書が提出され、7月1日に土地賃借契約書を締結しました。

問

3月の定例会で今年の予算と陳情の不採択が議決されたことが借契約書を締結しました。

答

私の裁量ということですが、3月の定例会で今年の予算と陳情の不採択が議決されたことが借契約書を締結しました。

問

平成25年度は黒字だったことについてはどのように考えていますか。

答

単年度では黒字でしたが、トータルで赤字だと話がありました。

問

提出された書面の裏付けは取ったのですか。

答

裏付けは取っていません。

問

交渉が成立したのと説明がありましたが、交渉でよろしいのですか。

答

6月24日に副支配人が来庁し、減額を受ける回答書が提出され、7月1日に土地賃借契約書を締結しました。

問

3月の定例会で今年の予算と陳情の不採択が議決されたことが借契約書を締結しました。

答

私の裁量ということですが、3月の定例会で今年の予算と陳情の不採択が議決されたことが借契約書を締結しました。

問

平成25年度は黒字だったことについてはどのように考えていますか。

答

単年度では黒字でしたが、トータルで赤字だと話がありました。

問

提出された書面の裏付けは取ったのですか。

答

裏付けは取っていません。

問

交渉が成立したのと説明がありましたが、交渉でよろしいのですか。

答

6月24日に副支配人が来庁し、減額を受ける回答書が提出され、7月1日に土地賃借契約書を締結しました。

問

3月の定例会で今年の予算と陳情の不採択が議決されたことが借契約書を締結しました。

答

私の裁量ということですが、3月の定例会で今年の予算と陳情の不採択が議決されたことが借契約書を締結しました。

問

平成25年度は黒字だったことについてはどのように考えていますか。

答

単年度では黒字でしたが、トータルで赤字だと話がありました。

問

提出された書面の裏付けは取ったのですか。

答

裏付けは取っていません。

問

交渉が成立したのと説明がありましたが、交渉でよろしいのですか。

答

6月24日に副支配人が来庁し、減額を受ける回答書が提出され、7月1日に土地賃借契約書を締結しました。

問

3月の定例会で今年の予算と陳情の不採択が議決されたことが借契約書を締結しました。

答

私の裁量ということですが、3月の定例会で今年の予算と陳情の不採択が議決されたことが借契約書を締結しました。

問

平成25年度は黒字だったことについてはどのように考えていますか。

答

単年度では黒字でしたが、トータルで赤字だと話がありました。

問

提出された書面の裏付けは取ったのですか。

答

裏付けは取っていません。

問

交渉が成立したのと説明がありましたが、交渉でよろしいのですか。

答

6月24日に副支配人が来庁し、減額を受ける回答書が提出され、7月1日に土地賃借契約書を締結しました。

問

3月の定例会で今年の予算と陳情の不採択が議決されたことが借契約書を締結しました。

答

私の裁量ということですが、3月の定例会で今年の予算と陳情の不採択が議決されたことが借契約書を締結しました。

問

平成25年度は黒字だったことについてはどのように考えていますか。

答

単年度では黒字でしたが、トータルで赤字だと話がありました。

問

提出された書面の裏付けは取ったのですか。

答

裏付けは取っていません。

問

交渉が成立したのと説明がありましたが、交渉でよろしいのですか。

答

6月24日に副支配人が来庁し、減額を受ける回答書が提出され、7月1日に土地賃借契約書を締結しました。

問

3月の定例会で今年の予算と陳情の不採択が議決されたことが借契約書を締結しました。

答

私の裁量ということですが、3月の定例会で今年の予算と陳情の不採択が議決されたことが借契約書を締結しました。

問

平成25年度は黒字だったことについてはどのように考えていますか。

答

単年度では黒字でしたが、トータルで赤字だと話がありました。

問

提出された書面の裏付けは取ったのですか。

答

裏付けは取っていません。

問

交渉が成立したのと説明がありましたが、交渉でよろしいのですか。

答

6月24日に副支配人が来庁し、減額を受ける回答書が提出され、7月1日に土地賃借契約書を締結しました。

問

3月の定例会で今年の予算と陳情の不採択が議決されたことが借契約書を締結しました。

答

私の裁量ということですが、3月の定例会で今年の予算と陳情の不採択が議決されたことが借契約書を締結しました。

問

平成25年度は黒字だったことについてはどのように考えていますか。

答

単年度では黒字でしたが、トータルで赤字だと話がありました。

問

提出された書面の裏付けは取ったのですか。

答

裏付けは取っていません。

問

交渉が成立したのと説明がありましたが、交渉でよろしいのですか。

答

6月24日に副支配人が来庁し、減額を受ける回答書が提出され、7月1日に土地賃借契約書を締結しました。

問

3月の定例会で今年の予算と陳情の不採択が議決されたことが借契約書を締結しました。

答

私の裁量ということですが、3月の定例会で今年の予算と陳情の不採択が議決されたことが借契約書を締結しました。

問

平成25年度は黒字だったことについてはどのように考えていますか。

答

単年度では黒字でしたが、トータルで赤字だと話がありました。

問

提出された書面の裏付けは取ったのですか。

答

裏付けは取っていません。

問

交渉が成立したのと説明がありましたが、交渉でよろしいのですか。

答

6月24日に副支配人が来庁し、減額を受ける回答書が提出され、7月1日に土地賃借契約書を締結しました。

問

3月の定例会で今年の予算と陳情の不採択が議決されたことが借契約書を締結しました。

答

私の裁量ということですが、3月の定例会で今年の予算と陳情の不採択が議決されたことが借契約書を締結しました。

問

平成25年度は黒字だったことについてはどのように考えていますか。

答

単年度では黒字でしたが、トータルで赤字だと話がありました。

問

提出された書面の裏付けは取ったのですか。

答

裏付けは取っていません。

問

交渉が成立したのと説明がありましたが、交渉でよろしいのですか。

答

6月24日に副支配人が来庁し、減額を受ける回答書が提出され、7月1日に土地賃借契約書を締結しました。

問

3月の定例会で今年の予算と陳情の不採択が議決されたことが借契約書を締結しました。

答

私の裁量ということですが、3月の定例会で今年の予算と陳情の不採択が議決されたことが借契約書を締結しました。

問

平成25年度は黒字だったことについてはどのように考えていますか。

答

単年度では黒字でしたが、トータルで赤字だと話がありました。

問

提出された書面の裏付けは取ったのですか。

答

裏付けは取っていません。

問

交渉が成立したのと説明がありましたが、交渉でよろしいのですか。

答

6月24日に副支配人が来庁し、減額を受ける回答書が提出され、7月1日に土地賃借契約書を締結しました。

問

3月の定例会で今年の予算と陳情の不採択が議決されたことが借契約書を締結しました。

答

私の裁量ということですが、3月の定例会で今年の予算と陳情の不採択が議決されたことが借契約書を締結しました。

問

平成25年度は黒字だったことについてはどのように考えていますか。

答

単年度では黒字でしたが、トータルで赤字だと話がありました。

問

提出された書面の裏付けは取ったのですか。

答

裏付けは取っていません。

問

交渉が成立したのと説明がありましたが、交渉でよろしいのですか。

答

6月24日に副支配人が来庁し、減額を受ける回答書が提出され、7月1日に土地賃借契約書を締結しました。

問

3月の定例会で今年の予算と陳情の不採択が議決されたことが借契約書を締結しました。

答

私の裁量ということですが、3月の定例会で今年の予算と陳情の不採択が議決されたことが借契約書を締結しました。

問

平成25年度は黒字だったことについてはどのように考えていますか。

答

単年度では黒字でしたが、トータルで赤字だと話がありました。

問

提出された書面の裏付けは取ったのですか。

答

裏付けは取っていません。

問

交渉が成立したのと説明がありましたが、交渉でよろしいのですか。

答

6月24日に副支配人が来庁し、減額を受ける回答書が提出され、7月1日に土地賃借契約書を締結しました。

問

3月の定例会で今年の予算と陳情の不採択が議決されたことが借契約書を締結しました。

答

私の裁量ということですが、3月の定例会で今年の予算と陳情の不採択が議決されたことが借契約書を締結しました。

問

平成25年度は黒字だったことについてはどのように考えていますか。

答

単年度では黒字でしたが、トータルで赤字だと話がありました。

問

提出された書面の裏付けは取ったのですか。

答

裏付けは取っていません。

問

交渉が成立したのと説明がありましたが、交渉でよろしいのですか。

答

6月24日に副支配人が来庁し、減額を受ける回答書が提出され、7月1日に土地賃借契約書を締結しました。

問

3月の定例会で今年の予算と陳情の不採択が議決されたことが借契約書を締結しました。

答

私の裁量ということですが、3月の定例会で今年の予算と陳情の不採択が議決されたことが借契約書を締結しました。

問

平成25年度は黒字だったことについてはどのように考えていますか。

答

単年度では黒字でしたが、トータルで赤字だと話がありました。

問

提出された書面の裏付けは取ったのですか。

答

裏付けは取っていません。

問

交渉が成立したのと説明がありましたが、交渉でよろしいのですか。

答

6月24日に副支配人が来庁し、減額を受ける回答書が提出され、7月1日に土地賃借契約書を締結しました。

問

3月の定例会で今年の予算と陳情の不採択が議決されたことが借契約書を締結しました。

答

私の裁量ということですが、3月の定例会で今年の予算と陳情の不採択が議決されたことが借契約書を締結しました。

問

平成25年度は黒字だったことについてはどのように考えていますか。

答

単年度では黒字でしたが、トータルで赤字だと話がありました。

問

提出された書面の裏付けは取ったのですか。

答

裏付けは取っていません。

村の進め方に **No!** 全員反対

オスプレイ配備に関する 新聞報道の村長発言について **緊急質問**

緊急質問とは、天変地異など突発的な出来事の発生などに際し、または執行部の政治責任などに関し、あらかじめ発言通告を提出することなく、議会が同意したときに限り質問できるものです。今回は全員が同意しました。

村長発言は重い

南 千晴 議員

問 6月定例会のオスプレイに関する決議以来、榛東村のオスプレイ配備に関連する様々な報道が新聞各社でされています。一連の報道に関して驚いた住民も少なくなく、特にオスプレイ配備が今後どのようになるのか、住民も関心を寄せています。そのような中で、米軍の分散配備についての村長発言が新聞の記事によって異なっている点が見られました。村長発言となると非常に重いものがあることから、緊急に議会において説明をしていただきたく質問をしました。

答 まず、本年7月9日の産経新聞に「阿久澤成實村長は産経新聞の取材に、米軍オスプレイ配備について納得できれば認めると述べ、政府との協議に前向きな考えを示した。」などの記事が掲載されました。この内容に間違いはないですか。

答 取材の時に私の聞き逃しか、話の中で解釈の違いが見受けられたと新聞をみて感じました。その日に記者に連絡をして修正を願いましたが、認めてもらえず、後日修正したいと上毛新聞、共同通信社の取材を受けました。

問 米軍のオスプレイ配備や分散配備は、議会の議決文に明記されていません。記事の内容で誤解を与えかねない結果を招いたことは村長の発言があつてのことです。住民にはどのように説明するのですか。

答 村長 このような状況を生み出し、深く反省してあります。説明については必要があれば出向いて行う責任があると感じています。

問 村長という立場における発言は大変重い政治的責任があると思います。村長は自身の発言の重さをどのようにとらえていますか。

答 村長 この問題で自分の情けなさを痛感しました。これに負けず、議員さん共々進んでいきたいと思えます。

聞き逃しはありえない

早坂 通 議員

問 村長は、基地対策特別委員会と議長と防衛省に行きましたが、これには防衛省より招待があつたのですか。

答 村長 その件については、私に要請はありませんでした。議会が行くので、村長もいつてくれるかという話の中で、それでは、一緒にいかせてもらおうと参加しました。

問 村民より、議会議決なのになぜ村長までいくのかといった声もあります。先ほどの南議員の質問に対して、聞き逃しか解釈の違いがあつたと言いましたが、産経新聞の記事を読みますと「議決文の通りだ。自衛隊へのオスプレイ配備、訓練の受け入れも政府から要請があれば村としては受け入れる。米軍のオスプレイを配備する可能性は低いと考えるが、仮にそうなれば、安全・安心の確保という点でしっかり説明してもらい、納得できれば認める」と言っているのです。米軍のオスプレイ配備に関して聞き逃しなんていうことはあり得ないわけですか。村長どうですか。

答 村長 この問題について記者会見の中で相対で話している、自衛隊のオスプレイ問題と米軍のオスプレイ問題がごっちゃになつていたと今思っています。支局長と話をしながら「納得できれば認める」と書いてあるのだから、納得できなければ米軍もそうだし、受け入れないという解釈をしてくださいといった話でした。

問 今村長がしなければならぬことは、潔く私の不徳のいたすところで勘違いをして、村民皆様にご迷惑をおかけしたことをお詫びしますと、なお、米軍のオスプレイ配備については白紙としますといった表明をすべきだと思えますが、いかがですか。

答 村長 本心に申し訳なく思っています。白紙です。そういうことでこれから対応します。